

山形県総合文化芸術館 オープニング事業

合唱の祭典 ~山形県合唱連盟創立70周年事業~

世界で活躍する指揮者・山田和樹と東京混声合唱団を迎え、山形のアマチュア合唱団・オーケストラとともに作りあげる合唱祭。東京混声合唱団の演奏のほか、久石譲の委嘱作品「I want to talk to you」初演と組曲「蔵王」の演奏を出演者合同で行います。



開演日時	6月19日(土)午後3時
指揮	山田和樹
出演	東京混声合唱団、山形県合唱連盟、山形県アマチュアオーケストラ連盟
会場	やまぎん県民ホール(山形市)
料金	全席自由 2,500円

詳しくは [やまぎん県民ホール](#)

[やまぎん県民ホールチケットデスク](#)
023-664-2204 (受付時間:水~月 10:00~19:00)

山形交響楽団 定期演奏会情報

第293回定期演奏会

開演日時	5月29日(土)午後7時 5月30日(日)午後3時
指揮	飯森範親
トロンボーン	中川英二郎
演奏	・ボロディン: 歌劇「イーゴリ公」第二幕より「だったん人の娘たちの踊り」 「だったん人の踊り」 ・リムスキー=コルサコフ: 交響組曲「シェエラザード」作品35 ほか
会場	山形テルサ(山形市)
前売券	A席 4,800円 ほか

第294回定期演奏会

開演日時	6月19日(土)午後7時 6月20日(日)午後3時
指揮	阪哲朗
ピアノ	館野泉
演奏	・ブリテン: 左手のピアノと管弦楽のための主題と変奏「ディヴァージョンズ」作品21 ・モーツァルト: 交響曲第38番二長調「プラハ」K.504 ほか
会場	山形テルサ(山形市)
前売券	A席 4,800円 ほか

詳しくは [山響](#)

[文化振興・文化財活用課](#) 023(630)3342

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時	対戦チーム
5月5日(水・祝)午後2時	ヴァンフォーレ甲府
5月16日(日)午後2時	愛媛FC
5月30日(日)午後2時	SC相模原
6月13日(日)午後2時	レノファ山口FC
6月26日(土)午後7時	ツエーゲン金沢

◎会場: NDソフトスタジアム山形(天童市)
◎詳しくは [モンテディオ山形](#)

東京2020オリンピック聖火リレーに伴う交通規制について

県内で聖火リレーが行われる6月6日(日)・7日(月)は、走行ルート周辺で交通規制が敷かれます。規制場所・時間帯は、「東京2020オリンピック聖火リレー山形県情報サイト」をご覧ください。県民の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



◎詳しくは [聖火リレー 山形県](#)

[スポーツ振興・地域活性化推進課](#) 023(630)2284

※3月31日時点の情報です。新型コロナウイルスの影響で変更となる場合がありますので、事前に☎にご確認ください。

旬のやまがた 美食レシピ

緑と白の見た目も鮮やかな春の風物詩

小笹うるい



うるいはギボウシとも呼ばれ、山野に自生する多年草です。小笹うるいは、明治20年代後半に上山市の男性が山中で見つけたものを採取し、里で栽培したのが始まりと言われています。里の地名から小笹うるいと名付けられ、今も原種を引き継ぐ伝統野菜として珍重されています。一昨年3月にはGI*に登録され、これを機に地元では知名度向上と販路拡大に取り組んでいます。

小笹うるいの特長は、通常のうるいに比べて茎が太く、ぬめりが強いこと。また、鮮やかな葉の緑と真っ白い茎のコントラストが美しく、この対比を出すために日光を微妙に調整しながら当てるなど、栽培には高度な技術が求められます。出荷時期は、ハウス栽培のものが2月から始まり、露地ものは5月まで。今回は春を感じさせる煮物のレシピを紹介します。

※GI(地理的表示保護制度): 特定の産地と品質等の面で結びつきのある農林水産物を知的財産として登録し、保護する制度

問い合わせ ☎ 村山総合支庁地域産業経済課 023-621-8447

小笹うるいとにんじんの煮物

●材料(2人分): 小笹うるい75g、凍みだいこん約10cm、身欠にしん1本、水50ml、酒50ml、しょう油大さじ1/2、砂糖小さじ1/2

●作り方: ①小笹うるいは葉先をとり、白と緑の鮮やかな色を保つため熱湯に数秒くぐらせて5cmの長さに切る。②凍みだいこんはぬるま湯で戻し、水分を切り、食べやすい大きさに切る。③身欠にしんは少し軟らかめの物を選んで4等分にする。④水、酒を煮立たせ、③を入れて少し煮る。⑤④にしょう油、砂糖を加え②を入れて味が染み込むまで煮る。⑥最後に①を入れ、汁がなくなるまで全体をよく混ぜながら煮含めて完成。



村山旬の市

地域の旬だより

村山

花笠踊り発祥の地「徳良湖」百周年

徳良湖は、尾花沢市にある農業用ため池で、大正10年に完成し、今年で百年目を迎えます。その築堤工事において、ため池の底をつき固める作業「どんづき」の掛け声「唱」から花笠音頭が生まれ、その「唄」に合わせた即興の「踊り」が花笠踊りになったと言われています。

面積26ha(東京ドーム約5・5個分)の広大な徳良湖は、周辺の農地約230haを潤しています。農業用ため池として高く評価され、平成22年には全国約21万箇所のため池の中から農林水産省の「ため池百選」に選定されました。また、周辺には温泉やキャンプ場などがあり、住民の憩いの場としても親しまれています。この5月3・4日には、百周年記念イベントが行われます。当日は、徳良湖一周を囲んでの花笠踊り(当日参加も可能)や花笠マラソン大会、県内ゆかりの歌手による野外ステージなど、多くの方々を楽しめるさまざまなイベントが予定されています。桜並木に囲まれた湖畔では、たくさんのお客さんが泳ぎながら、皆さんのご来場をお待ちしております。



問い合わせ ☎ 村山総合支庁農村計画課 023-621-8389

置賜

農業の魅力伝えるアグリ・ティーチャー!

県や置賜地域の市町、地元JA等で構成する置賜農業振興協議会では、中学生が農業を職業として考える機会を提供しようと、地域の農業者をアグリ・ティーチャーとして置賜管内の中学校に派遣しています。講師は、地元で意欲的に農業経営に取り組んでいる若手農業者7人と4団体です。平成30年の事業スタート以降、これまでに延べ9校に講師を派遣し、約1300人の生徒に農業の魅力ややりがい伝えてきました。

どの学校でも、生徒たちは、講師が語る作物や家畜を育てる喜びと苦労に、熱心に耳を傾けてくれます。生徒からは、「食べ物に生産者の思いや努力が詰まっていることを実感できた」、「農業を通して多くの人と出会える魅力を知った」、「地産地消を実践していきたい」などの感想が寄せられています。

中学校におけるキャリア教育としてだけでなく、農業を通して食や命の大切さを学べる貴重な機会でもあります。今年度も管内の中学校からの派遣申請を随時受け付けていますので、PTA行事や食育活動など幅広い場面でご活用ください。



問い合わせ ☎ 置賜総合支庁農業振興課 0238-26-6049

おきたま食の応援団

各地からの情報をお届けします。